

2025 年 6 月 吉日

株式会社シード・プランニング

バイオプロダクション関連のサポーターイングインダストリー市場を調査 2024 年は約 1,684 億円に

～連続生産やシングルユースへの対応などバイオプロダクションの周辺産業のマーケット動向の実態を調査～

バイオプロダクション関連のサポーターイング インダストリー市場の現状と将来性2025



株式会社シード・プランニング（本社：東京都文京区 梅田佳夫社長、以下シード・プランニング）は近年のバイオ医薬品を中心としたバイオプロダクションの需要拡大を受け市場への新規参入を検討する企業も増加していることから、日本市場に於けるバイオプロダクション関連のサポーターイングインダストリーの実態を調査し、その結果を公開したことをお知らせいたします。

●調査の詳細はこちら

<https://www.seedplanning.co.jp/news/5988/>

◆調査の背景と目的

近年、バイオ医薬品を中心としたバイオプロダクションの需要が増幅し、培養工程や分離/精製工程などで使用する各種製品の需要が急速に拡大しており、市場への新規参入を検討する企業も増加しています。また、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的な流行の影響から、海外製造品の日本への輸入が滞り、企業によっては製品が欠品する事態に陥ったため、製薬企業などでは培養工程や分離/精製工程で使用する製品の安定的な確保を目的に、日本企業の製品を購入する動きも一部でみうけられるようになりました。

そのような背景を踏まえ、日本市場におけるバイオプロダクション関連のサポーターイングインダストリーの市場規模やメーカーシェアなどの実態を調査し、市場の現状と将来性の分析を実施しました。

◆調査トピックス

- バイオプロダクションの培養工程から分離/精製工程で使用する各種製品の他に、解析装置や管理システムなどの市場規模や企業シェアなどについての調査も実施。
- 近年の製品技術トレンドでもある連続生産やシングルユース化への対応状況などについても分析。

◆バイオプロダクション関連サポーターイングインダストリー市場について

●バイオプロダクション関連サポーターイングインダストリー市場

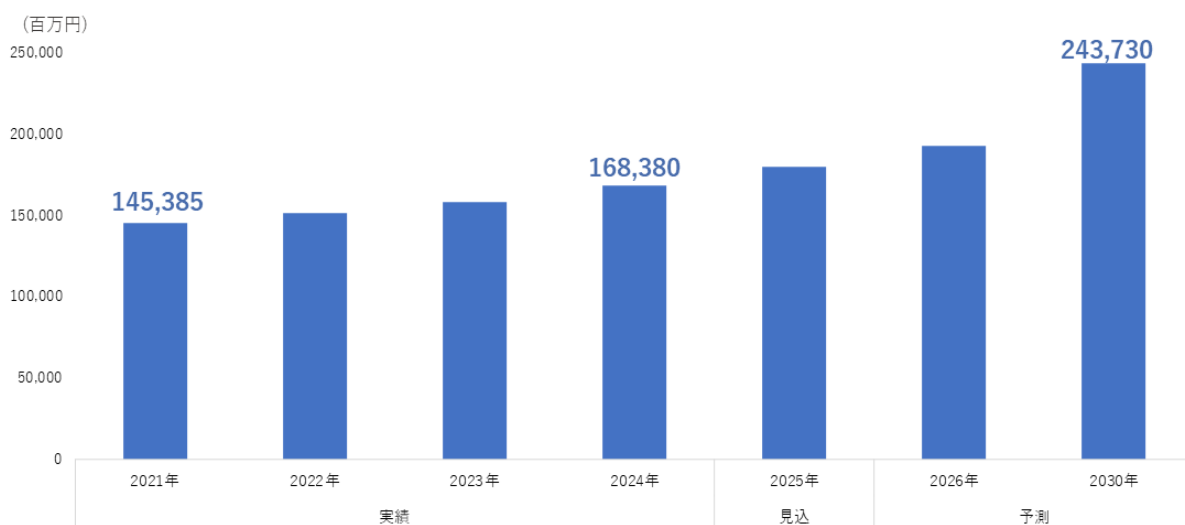
バイオプロダクションの製造工程に於いて、洗浄や滅菌、バリデーションの省略に伴うコストの削減や、製造プロセスを迅速に変更可能、汚染リスクの低減といったメリットから、シングルユースや連続生産の注目度が高まっています。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行に伴うバイオプロダクションの製造や研究・開発の停滞から、2020年～2021年にかけては市場規模の拡大も緩やかでしたが、2022年以降は製造や研究・開発も回復し、市場は再び成長路線にあります。

2024年のバイオプロダクション関連サポーターイングインダストリー市場は、前年比6.4%増の1,683.8億円となり、市場は拡大基調にあることがわかりました。

バイオプロダクション関連のサポーターイングインダストリー市場の現状と将来性2025

バイオプロダクション関連のサポーターイングインダストリー市場 (2021年～2030年)



◆調査概要

調査対象：

培養製品、分離精製製品、充填・検査製品、解析装置、施設、管理システムの計 23 品目

調査方法：

ヒアリング調査、インターネット調査

調査項目：

・市場定義/市場規模推移・将来性/企業シェア/流通動向・ユーザー構成比/製品・技術トレンド

調査期間：

2025 年 3 月～2025 年 6 月

本調査の詳細はこちら：

<https://www.seedplanning.co.jp/news/5988/>

資料についてのお問い合わせ：

広報宣伝部

E-mail : koho@seedplanning.co.jp